

# 防災・減災部門

## 「地域と一体となった浸水対策」

兵庫県西脇市

■台風18号  
総雨量 183 mm  
住宅浸水被害「35件」



平成25年9月台風18号時

●タイムライン  
(いつ・だれがなにをするのか)  
事前防災活動



■大雨特別警報  
総雨量 331mm  
住宅浸水被害「0件」



平成30年7月豪雨

### 総合治水

～対策を効果的に組み合わせる～

【内水対策は下水道事業で実施】

ながす対策  
県：河川整備  
市：下水道整備



ためる対策  
地元による水田貯留、ため池貯留など

そなえる対策  
地元によるタイムライン、樋門管理など

地元住民と共に

地元と原因究明を行う



課題整理

計画策定時、完成後の施設のタイムラインの作成



対策工事に着手

県と市との連携によるハード整備の実施

河川対策(県)



ポンプ場建設(市・下水道)



幹線水路嵩上(市・下水道)



施設を最大限に生かすため

### 結果

ハード整備完了後、地元では、2～3日前から地元のタイムラインにより「事前防災活動」(ポンプ操作、樋門点検、ゴミ除去、ため池事前放流等)が**確実に実施されています。**

水防訓練(ポンプの試運転)



事前のため池放流



水防訓練(事前点検)



水防訓練(避難所へ送迎)



### PRポイント!

- 昭和58年、平成16年、平成25年と大きな浸水被害(35～50件の宅地浸水等、最大浸水深2m)を被っているが、浸水対策であるポンプ場建設には、10億円以上を伴うことから実施されていなかった。
- 実施可能な対策計画を策定するため、地元と市、そして河川管理者である兵庫県と一体となった、「ながす」、「ためる」、「そなえる」対策を基本とした地域総合治水対策計画を策定して事業を実施。
- 氾濫解析を行い、本計画の効果を確認した。
- 主要な事業は2年で完成し、事業費は過去の計画事業費の20%の費用で完了した。
- 計画策定時に、完成後の施設についての管理、運用方法を含めたタイムラインを作成した。

### 取組の効果!

- この結果、平成30年7月豪雨では、過去には地区で一番早く浸水被害を被っていた当該地域が、「そなえる」、「ためる」対策により、宅地、鉄道、道路の浸水被害を防いだ。

### Key Person



福地区長 村上 勝則

【前もった段取りが一番】 < H26～地元役員、H30～会長として対策に取り組まれている >

浸水被害は総合治水対策と、特にタイムラインに沿った集落内の事前の防災活動によって改善され、集落の危機管理体制が整ってきました。やっぱり、前もった段取りが一番です。

しかし、避難についてはもっと計画が必要です。

対策後、安心感がありましたが、今後は、「安心して逃げる仕組みづくり」への取り組みも進めていきます。